

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	

## 企業の概要

社名	株式会社ジョイゾー	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	8名
事業概要	サイボウズ製品に対するコンサルティング・導入支援 ITシステム導入に対するコンサルティング クラウドサービス導入支援・システム開発・インフラ構築		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定。
テレワーク推進担当部門	全社
テレワーク対象者	全社員、パート、アルバイト
実施者数	7名
実施日数	従業員によっては全日(概ね週3-4日)

## テレワークの導入・拡大の経緯

サイボウズkintoneというクラウドシステムにて開発業務を行っているため、勤務先はどこでも可能と再認識し、通勤時間が長くなる社員からスタート。その後小学1年生の壁と言われる状況に直面したパート社員も在宅勤務に切り替えました。また、技術者として協力してもらっていた札幌の方へ正社員としての採用を提示し、優秀な人材確保することができました。アルバイトに関してもリモートワークが効率が良いと判断した場合は利用することを可能とし、学業優先の大学生であっても時間で拘束するのではなく、技術者として育てながら一緒に働いております。

## テレワークの概要・特徴

東京の企業でありながら、札幌在住の社員や千葉在住の社員を在宅勤務可能とする事で、優秀な人材を勤務可能地域に限定することなく確保することが可能となりました。社員だけでなく、パート、アルバイトに関しても同様に、テレワークが効率が良いと判断した場合は利用可能としています。

クラウドシステムを活用し、普段から事務所にいなくても業務を遂行することが出来るため、BCP対策にもなっております。

その分、セキュリティ、働き方などを意識させることができ、一人一人の業務に対する意識向上につながっているのが特徴です。

リモートワークジャーニーというコミュニティ活動を行い、テレワーク、リモートワークの推進活動に参加しております。今年は札幌、東京、釧路、萩でのイベントを主催、参加し、釧路のイベントでは釧路市のサテライトオフィスを利用して、1週間ほどリモートワークを行いました。

また、地域クラウド交流会というものも主催し、地方創生に向けた活動もサテライトオフィスを利用して、本来のシステム開発業務と現地での営業、イベント活動などを行っております。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

人材の確保において、かなりの効果をあげております。優秀なエンジニアを採用するのはなかなか容易ではありませんが、リモートワークを可能にしたため採用することができました。また、非常に重要な役割を持ったパート社員がご主人の単身赴任に伴い、家庭での負担が大きくなるのとことで出勤が難しいという話が出た時も、在宅ワークに切り替え、仕事を断念せず現在も働いております。

バーチャルオフィスを導入したり、チャットツールを利用して、オフィスに出勤している時以上に、コミュニケーションを多く取るようになりました。おとなしいと思っていた社員の方が、積極的に会話するようになり、思わぬ効果が現れております。

テレワークを取り入れることにより、地方への営業活動は東京から来たよそ者として扱われることが多いですが、サテライトオフィス利用や現地の企業と共同でイベント開催を行うことができるなど、オフィスに縛られない働き方で、業務、活動の幅が広がっております。今後は育児や介護などで就労を断念しがちな人材に関しても生活スタイルに合った勤務を推奨することで仕事を継続し、ライフスタイルがボトルネックにならない多様性を受け入れながら働きやすく笑顔あふれる会社として、社員、社員の家族、お客様と共に成長していきたいと思っています。